

2026年度 小学5年 学習指導計画

担任 ピアソン得子・沢辺麻美

学期	単元	学習・指導内容
1	かんがえるのって おもしろい	● 詩の音読を楽しむ。
	名前を使って、自己しょうかい	● 自分の名前の頭文字を使って文章を作る。 ● 出来た作品を発表する。
	銀色の裏地	● 登場人物の人間像とその関係を理解する。
	図書館を使いこなそう	● 本の分類の仕方を理解し、読みたい本の探し方について知る。
	漢字の成り立ち	● 漢字の成り立ちのには、大きく分けて四種類 あることを理解する。
	季節の言葉1 春の空	● 親しみやすい古文での春を表す言葉を理解し、その情景をイメージする。
	きいて、きいて、きいてみよう	● 話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう。
	漢字の広場1	● 既に習っている漢字を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。
	見立てる/言葉の意味が分かること	● 文章の要旨を捉えること、自分の考えを発表することができる。
	和語・漢語・外来語	● 和語、漢語、外来語を理解し、語句の由来などに関心を持つことができる。
	日常を十七音で	● 俳句の構成や書き出し方に着目して俳句を作り、友達に伝えることができる。
古典の世界(一)	● 古典を声に出して読み、音楽のリズムを味わう。	
2	目的に応じて引用するとき	● 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
	みんなが使いやすいデザイン	● 調べたことを報告する文章を正確に作る事が出来る。
	同じ読み方の漢字	● 同じ訓読み、音読みをする漢字を使い分けることができる。
	季節の言葉2 夏の夜	● 夏を表す言葉を理解し、その情景をイメージすることができる。

	作家で広げるわたしたちの読書	● 読書に親しみ、感想を伝え合うことができる。
	モモ	● 作家に注目して読む面白さを感じることが出来る。
	かぼちゃのつるが・われは草なり	● 詩の比喻や反復などの表現方法を理解し、音読する。
	どちらを選びますか	● 立場に分かれて討論することができる。
	新聞を読もう	● 新聞記事から適切な情報を集める。
	敬語	● 敬語の種類と正しい使い方を学ぶ。
	文章に説得力を持たせるには	● 意見文における「主張」と「根拠」について知る。
	漢字の広場2	● 挿絵を基に考え、条件に合わせて漢字を使った文を書くことができる。
	たすねびと	● 物語の全体像を捉え、考えたことを伝え合う。
	季節の言葉3 秋の夕暮れ	● 秋を表す言葉を理解し、その情景をイメージすることができる。
3	よりよい学校生活のために	● 身の回りの問題を解決するために話し合うことができる。
	漢字の広場3	● これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
	固有種がおしえてくれること	● 資料を用いた文章の効果を考える
	自然環境を守るために	● 写真やグラフを用いた文章を書く。
	古典に親しもう 浦島太郎	● 古典の文章の朗読を聞き、音読する。 ● 知っている話との相違点や、共感できる部分について話し合う。
	カンジー博士の暗号解読	● 同じ読み方の漢字を使い分けて書くことができる。
	古典の世界(二)	● 漢文を読んで、独特のリズム感を味わうことができる。
	漢字の広場4	● 都道府県すごろくをクラスで作成する。
	やなせたかし アンパンマンの勇氣	● 伝記を読んで、自分の生き方について考える。
	あなたはどうか考える	● 自分の考えをまとめ、意見文を書く。
	季節の言葉4 冬の朝	● 冬を表す言葉を理解し、その情景をイメージすることができる。
	好きな詩のよさを伝えよう	● 詩を音読し、好きなところや気づいたことなどをノートに書く。 ● 誌の表現の面白さを味わう。
4	言葉でスケッチ	● 自分が選んだ写真を、言葉で表現する。
	方言と共通語	● 共通語と方言の違いを知る。
	想像力のスイッチを入れよう	● 事例と意見の違いを理解し、文章を読むことができる。

複合語	● 複合語のでき方と組み合わせ方を理解する。
熟語の読み方	● 重箱読みと湯桶読みの熟語について理解する。 ● 特別な読み方をする熟語があることを知る。
漢字の広場 5	● これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
言葉を使い分けよう	● 語感や言葉の使い方を意識し、手紙を書く。
もう一つの物語	● 表現を工夫して、物語を書く。
「子ども未来科」で何をする	● 説得力のある文章を書き、スピーチをする。
漢字の広場 6	● これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
大造じいさんとガン	● 物語を朗読し、美しい表現を味わう。登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。

*授業の進捗状況、学校行事、生徒の理解度等の事情により、取り扱う単元や時期が異なることがあります。